



# 研究

## 近東に於ける英國作戰地域と交通狀況

多田基

大英帝國の國防施設を觀る時に、三つの戰線に關心を持たなければならぬ。勿論この場合に於ける戰線と云ふ言葉は、軍事的な意味ばかりでなく、政治上軍事上の危険地帯と云ふ意味に解してである。かゝる國防政策的な意味に解釋すると、大英帝國の防備は、英本土以外に近東及極東の軍事行動の必要を見なければならぬのである。既に一九一四年から一八年に至る前世界大戰に、大英帝國は近東戰線に總計二百万名を配置しなければならなかつた。この

内には兵力以外に勞働力も入つてゐた。當時英國艦隊は世界の制海權を手中に收めてはゐたが、かゝる大部隊の給養には、英國船舶の非常な悩みであつたと言はれる。今次歐羅巴大戰が一九三九年九月に勃發するや、英國は先づ佛蘭西と組んで近東に再び強力な軍備を配置した。英國は佛蘭西と協同してこの假装的戰線から攻勢に出でようと計畫を樹てゝゐたが伊太利の大戦参加に依つて、この假装的戰線が實際的な戰線に變化して來たのである。所が日獨伊の三

國同盟に依つて更に極東に於ける戦争の幻影が、英國の軍略家の目前に現はれて來たのである。

近東は、大英帝國にとつて恐らく弱點になつてゐると言つて良い。何故なら近東地方を經由して印度及アフリカ大陸の東半部へ連絡してゐるからである。戦線と言ふ言葉だと往々にして考へ違ひがされ易いから、かくの如くに、もつと廣い視角から事物を観察しなければならぬ。英國の近東戦略には、東部及北部アフリカの地上戦線、東部地中海の海上及空中戦、トルコ、イラン、アフガニスタンに於ける外交戦術、シリア及アラビア諸國に於ける秘密協定等が含まれてゐる。英國政策の重要關心となつてゐる處は、トルコ海峡、スエズ運河及印度の西北國境の三重要地點と英國の戦争利害と全然一致してゐない諸勢力の利用と云ふことであつた。作戦上の責任は海空軍と共にウエイヴェル將軍にあり、陸海空軍の行動地域は、ナイル地方、即ちエジプト及アンダロエジプトスダン、次にパレスチナ、トランスヨルダニア並にイラクである。それ等の地方に於ける英國軍の

全兵員數は六十方乃至七十万名位に評價されてゐる。英帝國の海陸空の國防力の大部分が近東戦線のために制限されてゐると云ふことは誇張ではないだらう。英國近東作戦の基礎となれる經濟諸力の研究は三つの問題に分たれるが、先づその内作戦及物資補給の決定的要因となる交通状態及連絡路を吟味することが重要である。他の問題は給養、衣服及燃料と兵器の供給と云ふことであるが、こゝでは之等の問題には觸れないことにする。

近東諸地方に於ける英國軍の進出地として上述した諸地方は、全面積が四百万平方籽に及びその人口數は二千七百万乃至二千八百万名である。従つて平均人口數は一平方籽に付七名に當る。これを歐羅巴に比較して觀ると、ソヴェトを除外して、全面積は五百四十万平方籽で人口は四億である。即ち人口密度は十倍餘になつてゐる。近東地方に於ける人口は、オアシスの如く點在せる地域（ナイル溪谷、地中海沿岸、二大河地方）に密集し、その地域は廣大な人跡稀な地域に依つて分離されてゐるので、甚だ尠ないので

ある。が故に人口密度は、交通施設の狀態及その程度を制約してゐる。而して交通組織の相互連絡も、甚だ圓滑を缺いてゐる。近東に於ける交通問題の内容は、重要地點と距離を觀れば略々推察出来る。

アレクサンドリア——リビア國境 四百軒

アレクサンドリア——バスラ 約千八百軒（空路）

カイロ——ハルツーム 約千四百軒（空路）

バスラ——イスタンブール 三千軒（空路）

鐵道は、人口稀薄のため、その發展は遅れ相互に連絡のとれてゐない三種の鐵道組織に主として限られてゐる。この交通組織の第一は、エヂプト國營鐵道、パレスチナ鐵道及ヘチヤス鐵道である。ヘチヤス鐵道と其の他の線路との間には、軌間が相違してゐるため甚だ不便である。第二の鐵道組織は、イラクの國營鐵道であるが、この鐵道は今大戦中トルコの鐵道網（所謂バクタット鐵道）と連絡をなしてゐる。バスラ——バグダット鐵道の一部分は狹軌であるが、他は廣軌である。英國の支配下に立つ近東諸國とトル

コ間の唯一の陸上連絡として、この鐵道は、重要性を持つてゐるが、一ヶ月に二千噸以上の輸送が出来ず、その上全延長三千軒と言はれるバスラ——イスタンブール間の六百三十軒は佛領シリア地方を通過するので、この鐵道の意義は割引されてゐる。第三はスダンの鐵道であるが、ハルツームを中心とせる地方と紅海港のポート・スダンを連絡してゐる。全體的に觀て、この鐵道は英國近東軍の進出及補給に對して決定的に役割を演ずることが出来る。併し今日のエヂプトに於いて知らるゝ如く、この鐵道の用役能力は著しく制限されてゐる許りでなく就中バスラ——パレスチナ——エジプト——スダン間の直通主要連絡線路が缺けてゐる。

近東に於いては、自動車輸送は長距離運輸機關として、鐵道より重要な位置を占めてゐる。諸國の自動車化程度は英國の軍事行動にとり極めて重要である。近東に於ける作戰行動は、特に自動車化に依存してをり、自動車運輸施設（給油所、修繕工場、道路）の完成は、作戦並に補給可能性の前提になるからである。こゝに掲げられた表に依つて

自動車化状況の一般を窺ふことが出来る。言ふ迄もなく、近東に於ける状態は、ヨーロッパのそれと比較出来ない程に遅れてゐる。パレスチナは交通經濟の點から觀て、アラビヤ諸地方に於いては隨一であるが、スダンも又非常に發展してゐる。道路網に關しては、道路の内に種々なものが包括されてゐるから、延長數そのまゝを受取ることが出来ない。砂漠地方に於ける道路は、特別に技術的工事を施さずして自動車交通が出来るものである。例へば、パレスチナ及イラク間の自動車交通はシリア砂漠を通過してゐる。主たる自動車道路は、カイロ—スエズ—ベールシエバ—イエルサレム—アマン—ルートバー—バクダツトであつて、その混凝土舗装は現在施工されつゝある。其の他のものは、エジプトのデルタからリビア國境に通ずる道路である。

一九三八年の初期に於ける自動車化數

道 路	延長(單位料)	一料延長を含む平方料
エジプト	八、一〇〇	一二四

スダン	—	—
パレスチナ	三〇〇	八・六
イラク	五、五〇〇	五五
自動車	車輛數	一車輛に對する人口數
エジプト	三一、〇〇〇	五〇九
スダン	四、三〇〇	一、三三〇
パレスチナ	七、七〇〇	一七四
イラク	七、四〇〇	四七八

これを獨逸舊本土に於ける一九三八年の状況と比較して見ると、自動車は一六、五〇〇、〇〇〇、人口四十三名に對し一車輛、道路は二・五平方料に付一料となつてゐる。

ナイル河の水路は、下エジプト及スダン間の連絡交通路として重要性を帯びて來た。以上に依つて、英國の軍事情動に關係を持つ交通状況を概述したことになる。

海を越へて來る補給品及海軍の經濟的技術的需要に對しては、地中海沿岸に完備せる港灣があるので甚だ有利である。先づアレクサンドリア港で、これに次いでポルト・スダン、ハイファ、テル・アヴィフ・ヤファ等がある。地中海はかくして、最も便利な最短距離の輸送路となること

であらう。印度洋に隣接せる海港は、三つの著名港たる即ちバスラ、スエズ、ポート・スタンである。アラビア諸地方に於ける上述の諸港の貨物積換數量は、アレクサンドリア、ポート・サイド、スエズの三港に海上運輸の重點があることを雄辯に物語つてゐる。

アラビア諸地方に於ける重要港の貨物積換數量

積換數量	(單一千噸)
アレクサンドリア	(一九三六年) …… 四、四六七
ポート・サイド	(一九三六年) …… 二、五三六
スエズ	(一九三六年) …… 一、〇七六
ハイフ	(一九三七年) …… 九九五
ヤッブ	(一九三七年) …… 四〇三
バスラ	(一九三六—三七年) …… 九六四

注意、ハイフアのは石油を含んでゐない。

物理學の各方面から關心を持たれる宇宙線の正體についてはいろ／＼の角度から検討を加へられてゐるが、仁科研究室の石井、關戸、島村、増田等の研究員が昨年及び本年の二、三、四月にわたつて清水トンネルの地下千二百米の個所に機械を据ゑつけて觀測の結果、地中にも大規模の宇宙線シャワーの存在することが發見された。(シャワーとはシャワーバスのやうに宇宙線が降下する現象)その源は地殻中の岩石の中にあるらしく從來も小規模のシャワーは觀測されたことはあつたが、幅一メートルの機械に現れるほど大規模のものゝ存在が認められたことは初めてである、これはエツクス線に照射された

金屬面などから第二次のエツクス線が出る如く遙か空中からの宇宙線が地中の岩石の中でシャワーを起すものと考へられ、この二次的宇宙線シャワーの發生は宇宙線の正體を掴む上に重大な手がかりを與へるものである。なほこのほか電離函を使つての觀測中、イオンの發生が爆發的に増大するために宇宙線の爆發と呼ばれる現象も研究された、また太平洋、濠洲航路などの汽船に機械を積み込んで自記的に記録をとつた結果、宇宙線の強さは氣壓によつて、また緯度によつていろ／＼變ることを明かにした。